

▼今まで大切に育ててきたホタルの幼虫を竜野川に放つ龍野小4年生の児童

ホタルの光であふれる川へ

龍野小児童がホタルの幼虫を竜野川に放流



ホタルを卵から幼虫、成虫になるまで育てる取り組みを行っています。竜野川で捕獲した成虫から卵をふ化させ、水槽の中で餌を与えたり、水温を調整したりして育ててきました。児童たちは、約3ミに成長したホタルの幼虫約900匹をやさしく放流し、「大きくなって帰ってきてね。来年たくさん光ってね」と声を掛けました。残りの約50匹の幼虫は、児童たちの手で成虫になるまで育てて観察を続けていく予定です。

9月11日(木) 龍野小学校(佐藤浩介校長125人)の4年生(元村祐太郎教諭16人)が、ホタルの幼虫を竜野川に放流しました。

同小では、今年6月から環境学習の一環として、ホタルの飼育に挑戦。児童たちに環境保全や生命の大切さを学んでもらうことを目的に、熊本県自然環境研究会代表の小林修さんや竜野地区の地域住民たちが結成された「たつのホタル会」(金森徹代表)の指導の下、

リサイクルで町をきれいに

乙女小学校で環境出前講座

9月8日(月)乙女小学校(岡本秀夫校長113人)で、4・5年生を対象とした環境出前講座が開催されました。

同講座は、子どもたちに身の回りのごみに関心を持つことによって地域の環境保全を推進することを目的に、熊本県産業廃棄物協会が主催。同会青年部10人が家庭から出たごみがどのように廃棄されているのかを説明し、ごみ収集車を操作して収集する体験学習を実施しました。児童たちは「環境のことを考えて、きちんと分別したい」と話しました。



▲収集車でごみを収集の様子を見学する乙女小児童たち



▲甲佐小4年生の児童たちとゲームで触れ合う参加者

いつまでも元気でいてね

宮内地区敬老会で甲佐小児童と交流

9月10日(水)宮内地区社会教育センターで、宮内地区敬老会が開催されました。

宮内地区社会福祉協議会(西坂和洋会長)が主催。地域の高齢者など約100人が参加し、甲佐小学校4年生とくまモン体操を踊ったり、歌や体を動かすゲームなど楽しんだりして触れ合いました。児童たちは「おじいちゃん、おばあちゃんたちとゲームができて楽しかった」と話しました。

最年長の参加者に贈られる「最老年齢賞」に、男性は91歳の田上定さん(本坂谷区)、女性は95歳の増田富美さん(上揚区)が表彰され、80歳以上の参加者には花束が贈呈されました。